

ID No.	233
研究課題名	造血器腫瘍発症に関わる遺伝子発現制御因子異常の解明
研究代表者	原田 浩徳 (順天堂大学・准教授)
研究組織	
受入教員	北村 俊雄 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	原田 結花 (順天堂大学・助教)
	北浦 次郎 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究報告書	
<p>造血器腫瘍における遺伝子異常を同定し、その発症機序の解明を行っている。先天的に GATA2 変異を有する Emberger 症候群から発症した骨髓異形成症候群 (MDS) 症例から、MDS 移行の責任遺伝子として STAG2 変異と SETBP1 変異を同定した。そして、GATA2 変異とこれらの遺伝子変異による MDS 発症機序を明らかにするため、マウス造血幹細胞に GATA2 変異と STAG2 変異、または GATA2 変異と SETBP1 変異を導入してモデルマウスを作製し、現在解析中である。</p>	